

## 第 34 回 道銀芸術文化奨励賞 音楽部門受賞

ながぬま えりか  
永沼 絵里香 (ピアノ)

1990 年 6 月生 札幌市出身・在住



### 【略歴】

2013 年 東京藝術大学 音楽学部 器楽科 ピアノ専攻卒業

### 【近年の主な活動歴】

- 2014 年 北海道国際音楽交流協会主催第 26 回ハイメスコンクール第 2 位  
札幌市民ロビーコンサート  
第 13 回文化庁/日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクト・オーケストラシリーズ  
にて札幌交響楽団と共演  
第 17 回札幌コンサートホール主催リスト音楽院セミナー最優秀受講生
- 2015 年 永沼絵里香ピアノリサイタル  
ブダペストの春の音楽祭においてソロリサイタル (ハンガリー)
- 2019 年 札幌文化芸術交流センター SCARTS 主催 第 5 回まちなかお昼のおんがくかい  
「ピアノの魔術師リストによせて」
- 2020 年 札幌コンサートホール主催 リスト音楽院セミナー歴代最優秀受講生によるランチタイム  
コンサート
- 2021 年 第 7 回 楽興の時「ヴァイオリンとピアノで巡る武満徹の風景」
- 2022 年 FOGMUSIK 主催 ピアノトリオコンサート(札幌・釧路)
- 2023 年 永沼絵里香ピアノリサイタル  
JAPAN LIVE YELL project in 北海道 2022 音楽劇「動物たちの夜曲」
- 2024 年 飯村真理・永沼絵里香デュオコンサート  
第 139 回 OKUI MIGAKU ギャラリーコンサート  
なの花薬局 Presents 子どもといっしょに聴きたいコンサート Vol.4

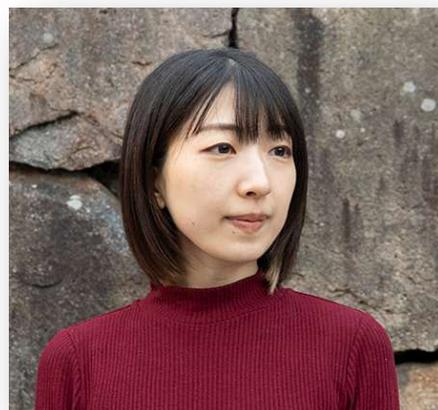
これまでにピアノを浜田典子、佐藤睦美、橘高昌男、植田克己、室内楽を加藤洋之、玉井菜採、ピアノデュオを角野裕、フォルテピアノを小倉貴久子の各氏に師事。イシュトヴァーン・ラントシュ、シャーンドル・ファルヴァイ、セルゲイ・ドレンスキー、パーヴェル・ネルセシヤン、アンドレイ・ピサレフ、ロマン・デシャルム、ローラン・カバツソ各氏のマスタークラスを受講。

現在、北海道を中心にソロでの演奏や、アンサンブルピアニストとして多くの演奏家との共演、アウトリーチ活動など幅広い演奏活動を行う傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。日本ピアノ教育連盟会員。

## 第 34 回 道銀芸術文化奨励賞 美術部門受賞

かさい ゆか  
葛西 由香 (日本画)

1993 年 11 月生 網走市出身・札幌市在住



### 【略歴】

2016 年 札幌大谷大学 芸術学部 美術学科 日本画専攻卒業

札幌大谷大学卒業制作展 芸術優秀賞 受賞

2018 年 網走市立美術館 コレクション

オホーツク・文化交流センター 常設展示

2021 年 大谷賞 受賞

### 【近年の主な活動歴】

2016 年 「2020-来るべき者達」 クロスホテル札幌

「500m 美術館 vol.19 いつかきたみち、こどもみち」 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館

2017 年 「アートフェア札幌 2017」 クロスホテル札幌

2018 年 個展「日々とあそび」 クラークギャラリー+SHIFT/札幌

2019 年 個展「201 号室、傍らの些事」 北海道文化財団アートスペース企画展 vol.39/札幌

個展「201 号室、傍らの些事」 大丸藤井セントラル/札幌

「timelake シングルスクリーン-とりまく息を吐く瞬間」 MOTIF/高松

2020 年 「札幌ミュージアム・アート・フェア 2020-2021」 札幌芸術の森美術館

「葛西由香展」 網走市立美術館

「《道産子追憶之巻》と日本画の名品 道立近代美術館コレクション選

道産子日本画家のニューフェイス 葛西由香の世界」 北海道立函館美術館

2021 年 「アパート-5人の住人たち-」 CAI03/札幌

「3331 ART FAIR 2021」 3331Arts Chiyoda/東京

「ART FAIR TOKYO 2021」 東京国際フォーラム

2022 年 個展「ままならぬまま」 Gallery MONMA/札幌

個展「52 ヘルツの謳歌」 札幌グランドホテル

「Through The Eyes of Hokkaido Artists」 絶対空間/台南

「ART FAIR TOKYO 2022」 東京国際フォーラム

「霧の向こうから石が」 ギャラリー無量/富山

2023 年 「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」 マリンメッセ福岡

「鼓動する日本画」 札幌三越

「ART FAIR TOKYO 2023」 東京国際フォーラム

2024 年 個展「特別になる瞬間」 マテックプロダクツギャラリー/帯広

等身大の生活やありふれた物事を題材に、人が生きることの賛美とも揶揄とも取れる日本画を描く。